

さて、今回は「社長の仕事」について考えてみたいと思います。

社長の仕事で最も大事なことは「目標設定や方針を決めること(経営の経)」、「働きやすい環境をつくること(経営の営)」の二つです。

ところが、上記の2つはとても大事なことですが、さらに突き詰めてみると社長の究極の仕事はもっと違うところにあると言われています。社長の究極の仕事は、「社長の仕事を無くすこと」です。社長自身が自分の仕事を無くすためにドンドン社員に権限委譲していきます。社長が企業の最前線で先頭にたってガンガン仕事をやっている、如何にも仕事をやっているようで自己満足できるかもしれませんが、でも、それでは社員が育たないばかりか組織が思うようにはかなくなります。そして、そのような社長は経営者に脱皮することができない単なる個人事業主のプレイヤーに過ぎません。そんな社長のもとで働く社員は単なる社長のお手伝いさんです。

さて、中国古代の道家思想の開祖とされる「老子」が優秀なリーダーについて次のように述べています。

<優秀なリーダーの順位>

- 最もダメなリーダー : バカにされるリーダー
- 3番目に優れたリーダー : 恐れられるリーダー
- 2番目に優れたリーダー : 敬愛されるリーダー
- 最も優れたリーダー : 存在さえ忘れられるリーダー

上のリーダーの順位を見てどう思いますか？一般的には最も優れたリーダーは敬愛されるリーダー・尊敬されるリーダー・信頼されるリーダー・思いやりのあるリーダーなどと思っていませんでしたか？老子の考えは全く違っていました。最も優れたリーダーが存在さえ忘れられるリーダー、とは究極の考え方です。驚きでした。

ところで、存在さえ忘れられるリーダーになるためには何をすべきでしょうか？やはり、すべての日常業務を任せることができるスタッフを育てることです。そして、日常業務はすべて信頼のできるスタッフに任せて、最も優れたリーダーは重要な意思決定のみをします。優秀なリーダーは重要な意思決定をするだけですから、会社にいてもいなくても、どこにいても良いのです。

各部門のリーダーさんも、是非以上をご理解して、できるだけ日常業務をスタッフに委譲するようにお願いします。そして、委譲されたスタッフの皆さんも上記を理解して仕事を引き受けてください。

1) 社長の仕事で、もっとも大事な事を2つ上げてください

()

()

2) 社長の究極の仕事は？

()

3) 老子がいう、最も優れたリーダーとは？

()

4) 存在さえ忘れられるリーダーになるためには何をすべきでしょうか？

()